

8/20(木)
13:00~17:00

都市センターホテル
(東京・永田町)

全国で活発な『公設民営スタジアム・アリーナ』の新設・建替え案件獲得のために、「稼ぐ集客施設」を実現させる「基本構想」「施設計画」のポイントから、地方での「官民連携」の構築手法や、「事業提案書」で押さえるべき論点まで解説！

スタジアム・アリーナ 施設開発研究

事例研究▶スタジアムパークの先駆け!!
『エディオンピースウイング広島』
常時満員(収容率90.4%)を実現させた成功手法

- 地方都市において事業として「成立する施設」と「成立しない施設」を分ける視点
- 立地、商圈、アクセス、周辺機能、都市の将来像を踏まえた「基本構想」の立て方
- 「施設計画」の段階で織り込むべき運営視点
——稼働率、非試合日利用、ホスピタリティ、飲食、物販、VIP、地域利用、回遊性等
- 「提案書」「企画書」で押さえておくべき論点
——市場性、公共性、事業性、実現性、運営体制、地域波及効果等

ご案内

全国各地で「スタジアム・アリーナ施設」の新規開発や建替えが活発化しています。特に地方では、地方市街地再開事業の中核機能として「スタジアム・アリーナ施設」を位置付けて、公共施設を中心に案件が増えています。さらに、スタジアムやアリーナを核とした再開事業は、スポーツ庁・経済産業省が進める「スタジアム・アリーナ改革」により、単なる競技施設から「街づくりの核となる交流拠点」へと役割が大きく変化しており、開発にあたっては、試合日以外も施設を稼働させるための「多機能複合化」や官民連携による「収益性と公共性の両立」、「地域全体の経済活性化」などの機能が求められています。

本セミナーは、平均収容率90.4%(入場者数約2万5,000人)を実現したひろしまスタジアムパーク「エディオンピースウイング広島」の開発・運営体制の構築に主導的な役割を担うとともに、各地のスタジアム・アリーナ整備事業で数多くの事業アドバイザーを務めてきた広島経済大学客員教授・響想舎代表の信江雅美氏をお招きして、まず、スタジアム・アリーナ整備事業の最新動向を整理したうえで、地方都市に求められるスタジアム・アリーナの機能について解説。次に、施設単体収支だけでなく、周辺価値・都市価値・ブランド価値を高めるための、運営視点を織り込んだ「基本構想」や「施設計画」の立案手法について解説。さらに、地方での「官民連携の構築手法」や、事業化を進めるうえで押さえておくべき論点について、事例を交えて解説いたします。

開催概要

開催日時 2026年8月20日(木) 13:00~17:00

会場 都市センターホテル
東京都千代田区平河町2-4-1 TEL 03-3265-8211(代)
※詳しい会場案内図は参加証にてお知らせいたします。

参加費 57,200円 (1名様/消費税及び地方消費税を含む)
●同一申込書にて2名様以上参加の場合、
49,500円 (1名様につき/消費税及び地方消費税を含む)
※テキスト代を含む。

主催 総合ユニコム株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋2-10-2 ぬ利彦ビル南館6F
TEL 03-3563-0025(代)

ダイレクトメールの送付先変更・中止のご希望者は、お手数ですが封筒ラベルにご要件を記入の上、弊社企画事業部(FAX.03-3564-2560)迄ご連絡ください。

お問合せ先/総合ユニコム(株) 企画事業部 TEL.03-3563-0099(直通)

ネットで申し込み 下記URLの弊社ホームページからも申し込みできます。
<https://www.sogo-unicom.co.jp>

FAXで申し込み 左下の申込用紙へ記入し、下記フリーダイヤルへFAX願います。
☎ 0120-05-2560 (不通時はFAX.03-3564-2560)

参加申込書

スタジアム・アリーナ施設開発研究

●会社名(フリガナ)	●貴社業種
●所在地(〒)	●振込予定日(月 日) ●当日現金支払い希望... <input type="checkbox"/> ●ご担当者名()
TEL. ()	FAX. ()
●出席者名①(フリガナ)	●所属部署・役職名
●E-MAIL	
●出席者名②(フリガナ)	●所属部署・役職名
●E-MAIL	

0-0320260801-060

- お申し込み方法
 - ・【インターネットでのお申し込み】弊社HPの該当セミナーのページよりお申し込みください。詳細は弊社HPをご覧ください。
 - ・【FAXでのお申し込み】左記「参加申込書」にご記入後、上記FAX番号にてお申し込みください。参加者宛に「参加証/請求書/銀行振込用紙」を郵送いたします。
 - ・【開催直前や当日の申込受付】開催直前や当日でも空きがあれば受け付けます。その場合は、メールまたはFAXにて「受講案内」と「支払方法」をご連絡いたしますので、必ずメールアドレスかFAX番号の明記をお願いします。
 - ・当日は「参加証」をご持参いただき、受付に「お名刺1枚」と共にお渡しいたください。
- 参加費のお支払について
 - ・【インターネットでのお申し込み】弊社HP経由でのお申し込みに関し、クレジットカード決済が銀行振込かの選択が可能です。なお、クレジットカード決済はお申し込み時のみ承りますのでご注意ください。銀行振込の場合は、下記FAXでのお申し込みの項目をご一読ください。
 - ・当日現金でのお支払いも可能です。お申込フォーム備考欄にその旨をご記入願います。
 - ・【FAXでのお申し込み】参加費は「請求書」到着後、原則として開催3営業日前迄にお振込み願います。
 - ・お振込みが開催後日になる場合は、左記「振込予定日」欄にご記入ください。
 - ・お振込手数料は貴社にてご負担願います。
 - ・当日現金でのお支払いも可能です。「当日現金支払い希望」欄に☑印をご記入願います。
- お申込者が参加できない場合について
 - ・代理者にご出席いただけます。既送の「参加証」と「代理者のお名刺1枚」をご持参のうえ、当日会場受付までご連絡ください。
- キャンセルについて
 - ・開催3営業日前(土日祝日、年末年始を除く)迄に、弊社宛に「会社名/氏名/電話番号/返金先銀行口座(お振込済みの場合)」を明記の上、FAX.03-3564-2560宛に必ずご連絡ください。返金手数料として3,000円(1件毎)を申し受けます。なお、開催2営業日前以降のキャンセルにつきましては、全額をキャンセル料として申し受けます。その際には当日配布資料を参加者宛にご送付いたします。
- その他ご連絡事項
 - ・お座席は受付順を基本に当方にて指定させていただきます。
 - ・講演中の録音・録画、携帯電話等での通話はお断りいたします。
 - ・講演中のPCの使用は可能ですが、使用の際には周囲へのご配慮をお願いします。
 - ・ご記入いただいた個人情報は、弊社商品案内ならびにセミナーの適切な運営、参加者間の交流促進のために利用させていただきます。
 - ・主催者や講師等の諸般の事情により、講師変更や開催を中止する場合がございます。その際には弊社より参加者にご連絡させていただきます。
 - ・開催中止の場合には受講料を返金いたしますが、それ以外の理由では返金できません。また、開催中止の際の交通費の払い戻し・キャンセル料の負担はいたしかねます。

スタジアム・アリーナ施設開発研究

セミナープログラム (13:00~17:00)

講師プロフィール

I. なぜ今、地方都市にスタジアム・アリーナなのか

- スタジアム・アリーナが地方都市の都市経営・地域価値向上の拠点として注目されている背景
- 従来型の公共スポーツ施設と「集客施設」としてのスタジアム・アリーナとの違い
- 競技開催の場から「交流拠点」「都市の象徴」「まちの回遊拠点」へと変化する役割
- 地方都市において、事業として「成り立つ施設」と「成り立たない施設」を分ける視点

II. スタジアム・アリーナの3つのカテゴリーと基本構想

——「①競技開催会場」「②観戦体験施設」「③地域のシンボル」

- 構想の前提として、まず3つのカテゴリーのどこを目指すのかを明確にすること
- 3つのカテゴリーの違いと、それぞれに求められる立地、機能、設備等の諸条件
- 出発点は「建てること」ではなく、「何のために存在する施設なのか」という構想
- 立地、商圈、アクセス、周辺機能、都市の将来像を踏まえた基本構想の立て方
- スタジアムとアリーナの基本的な違い
- 新築、改修、複合開発をどう見極めるか

III. 第2・第3のカテゴリーを成立させる
施設計画のポイント

- 常時満員を可能にする施設、日常的に人を呼び込める施設の考え方
- スタジアム・アリーナは、整備してから運営を考える施設ではないこと
- 構想・基本計画の段階で織り込むべき運営視点
 - ・稼働率、非試合日利用、ホスピタリティ、飲食、物販、VIP、地域利用、回遊性等
- 競技基準を満たすだけでは、良い施設にはならないということ
- 競技基準と使いやすさ、快適性を両立させる設計上のポイント
- 施設単体収支だけでなく、周辺価値、都市価値、ブランド価値までを含めて捉える視点

IV. 地方都市における官民連携と事業化のポイント

- 行政、民間事業者、ホームクラブ・運営主体が果たすべき役割
- 事業手法の考え方
 - ・指定管理、PFI、DBO、コンセッション、Park-PFI、その他官民連携手法
- 制度の理解より先に、誰が何を担うのかを設計することの重要性
- 地方都市において、経済的価値と社会的価値の両面から施設価値を捉える視点
- 提案書・企画書で押さえるべき論点
 - ・市場性、公共性、事業性、実現性、運営体制、地域波及効果等

V. 【事例研究】

エディオンピースウイング広島にみる事業化のポイント

- なぜ広島の都心に新スタジアムを構想したのか
- 優先したのは、初めて訪れる人に開かれた施設にすること
- 基本構想
 - ・市場環境分析、立地選定、目指す施設像、都市との関係性等
- 基本計画
 - ・利用用途、施設規模、機能構成、事業スキーム、資金調達等
- 整備段階で重視した点
 - ・都市との接続、回遊性、広場・周辺空間との関係、ランドマーク性
- 運営段階で見えてきたこと
 - ・集客、収益、賑わい、都市への波及、施設価値の持続的向上
- 地方都市のスタジアム・アリーナ開発への示唆



信江 雅美

(のぶえ まさみ)

広島経済大学 客員教授
響想舎 代表

1961年生まれ。立命館大学経済学部卒業。
(株)サンフレッチェ広島にて、サッカースタジアム建設推進プロジェクトの総責任者を務め、「エディオンピースウイング広島」の構想・設計・建設・開業まで、全工程を通じて主導的役割を担った。2024年の開業後は、施設の総責任者として運営体制の構築と安定化を牽引。その後、スタジアム・アリーナ整備に関する計画支援等を行なうコンサルティング事務所・響想舎を設立するとともに、スポーツ庁『スタジアム・アリーナ改革ガイドブック第3版』の検討委員を務めた。

現在は、広島経済大学で客員教授を務めながら、愛知県安城市や沖縄県、徳島県など全国各地で進行するスタジアム・アリーナ整備計画の検討組織に参画し、専門的知見を提供している。

街なかサッカースタジアム
「エディオンピースウイング広島」

広島県の広島市中央公園内の広場エリア(公園、商業施設)と共に整備されたスタジアムパーク(2024年2月開業)。

同パークは、広島市が事業主体となり、指定管理者は(株)サンフレッチェ広島。敷地面積約4万9,900㎡、観客席2万8,500席(43席種)。日本初の「都心交流型スタジアムパーク」として、試合日以外もスタジアムと広場が一体となって、ミュージアムやショップ等のさまざまな施設や多目的な機能を提供することで、「365日のにぎわい」をつくることを目指している。